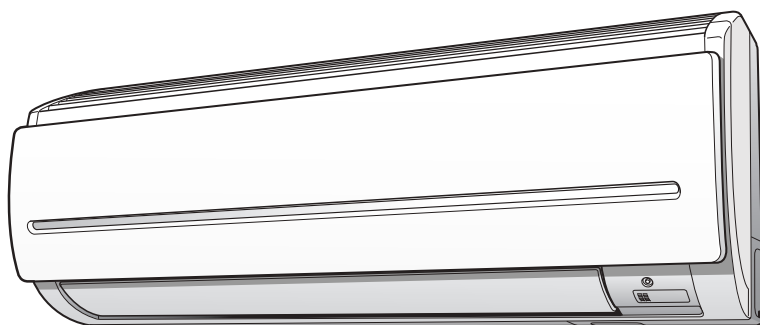


取扱説明書

RAS - LJ28X2形・室内機 RAS - LJ28X2形／室外機 RAC - LJ28X2形
RAS - LJ36X2形・室内機 RAS - LJ36X2形／室外機 RAC - LJ36X2形
RAS - LJ40X2形・室内機 RAS - LJ40X2形／室外機 RAC - LJ40X2形
RAS - LJ50X2形・室内機 RAS - LJ50X2形／室外機 RAC - LJ50X2形



インバーター

冷房・暖房

除湿タイプ

<セパレート壁掛形>

もくじ

ご使用の前に	安全上のご注意.....	2~5	上手な使い方	お手入れ.....	12
	●据え付け上の注意事項.....	2		知っておいていただきたいこと.....	13
	●使用上の注意事項.....	3~5		上手な使い方.....	14
	●移設、修理時の注意事項.....	5			
	各部の名称と働き (1) 室内機／室外機.....	6、7			
	各部の名称と働き (2) リモコン.....	8			
基本的な使い方	●暖房・冷房・除湿運転.....	9	アフターサービス	故障かな?と思ったら.....	15
				保証とアフターサービス.....	16
便利な使い方	●クリーン運転.....	10		定期点検.....	17
	●風向の調節.....	10		据え付けについて.....	18
	●タイマー予約運転.....	11		仕様.....	19
			付属部品・別売部品について.....	19	
			お客様ご相談窓口.....	裏表紙	

はじめに このルームエアコンは、一般家庭の人を対象とした空調を目的としたものです。食品・動植物・精密機器・美術品・医薬品等の保存など特殊用途には使用しないでください。また、能力以上の負荷で使用しないでください。



この製品はオゾン層を破壊しない冷媒を使用しています。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。小さいお子様などにつきましても安全のために、警告・注意に記載されている部分に触れることのないようくれぐれもご注意ください。



安全上のご注意 必ずお守りください。





ご使用前に

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。
 ■表示と内容を見逃して誤った使い方をしていたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。











 **警告**この表示の欄は、「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。

 **注意**この表示の欄は、「傷害を負うおそれまたは物的損害を生じるおそれがある」内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です)

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。		このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。
---	----------------------------	---	-------------------------------

●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保存してください。

 警告	
据え付け上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ●改造は行わない 改造を行いますと、水漏れ・故障・感電・火災の原因になります。 <div style="text-align: right;"> 禁止</div>
	<ul style="list-style-type: none"> ●据え付けは、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災の原因になります。 <div style="text-align: right;"> 強制</div>
	<ul style="list-style-type: none"> ●電源は必ずエアコン専用のコンセントを使用する 専用以外のコンセントを使用すると発熱し、火災の原因になります。 <div style="text-align: right;"> 強制</div>
	<ul style="list-style-type: none"> ●アース（接地）を確実にを行う ●アース工事は、販売店または専門業者に依頼する アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線などに接続しないでください。 アース（接地）が不確実な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になります。 <div style="text-align: right;"> アース線接続</div>
 注意	
	<ul style="list-style-type: none"> ●湿気の多いところ、雨水など水気のあるところに設置するときは、漏電しゃ断器を取り付ける 漏電しゃ断器が取り付けられていないと、感電の原因になることがあります。 <div style="text-align: right;"> 強制</div>
	<ul style="list-style-type: none"> ●可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へは、設置しない 万一ガスが漏れて室外機の周囲にたまると、発火して火災の原因になることがあります。 <div style="text-align: right;"> 禁止</div>
	<ul style="list-style-type: none"> ●除湿水は、確実に排水できるようにする 排水経路に不備があると、室内・室外機から水が滴下し、家財などを濡らす原因になることがあります。 <div style="text-align: right;"> 強制</div>
	<ul style="list-style-type: none"> ●指定以外の電源に接続しない 指定以外の電源を使うと発熱し、火災の原因となります。 <div style="text-align: right;"> 強制</div>



警告

使用上の注意事項

- 長時間冷風を身体に直接当てたり、冷やし過ぎたりしない
体調悪化や健康障害の原因になります。



禁止

- 電源プラグは、ホコリが付着していないか確認し、ガタつきやホコリがたまらないように刃の根元まで確実に差し込む
ホコリがたまった状態での使用や、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。



強制

- 電源コードは、途中で接続したり、延長コードの使用・他の電気器具との
タコ足配線やステップルなどでの固定を行わない
また、つっぱらないようにゆとりを持たせて配線する
感電や火災の原因になります。



禁止

- 電源コードは、束ねたり、引っ張ったり、物を載せたり、加熱したり、
加工したり、物と物の間にはさんだりしない
電源コードが破損する原因になります。
傷んだまま使用すると、感電や火災の原因になります。



禁止

- 室内・室外機の吹き出し口や吸い込み口をふさいだり、指や棒などを入れない
内部でファンが高速回転しておりますので、けがや故障の原因になります。
また、性能が低下します。



禁止

- 電源プラグの抜き差しにより、エアコンの運転や停止をしない
感電や火災の原因になります。



禁止

- 異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源プラグを抜き（またはブレーカーを“OFF”にして）お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口
に依頼する
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。



プラグを抜く

- 安全器のヒューズの代わりに、針金や銅線などを使わない
故障や火災の原因になります。



禁止

- 落雷のおそれがあるときは、運転を停止し、電源プラグを抜く
（またはブレーカーを“OFF”にする）
落雷の程度によっては、故障の原因になります。



プラグを抜く

- エアコンが冷えない、暖まらない場合は冷媒漏れが原因のひとつとして考えられるので、お買い上げの販売店に相談する
エアコンに使用されている冷媒そのものは無害です。万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒータ、ストーブ、コンロ等の火気に触れると有害な生成物が発生します。刺激臭があるときには、すぐにエアコンを停止し窓等を開けて換気し、販売店にご連絡ください。



強制



⚠ 注意

●このエアコンは、一般家庭の人を対象とした空調を目的としたものですので、食品・動植物・精密機器・美術品・医薬品等の保存など特殊用途には使用しないこれらの品物の品質低下の原因になることがあります。



禁止



●ぬれた手で、スイッチを操作しない感電の原因になります。



ぬれ手禁止



●エアコンの風が直接あたる所に、燃焼器具を置かない燃焼器具の不完全燃焼の原因になることがあります。



禁止



●燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気を行う換気が不十分な場合は、酸素不足の原因になることがあります。



強制



●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かないコードの内部が断線して、発熱し火災の原因になることがあります。



禁止



●長期間の使用で、傷んだままの据付台などで使用しない室外機の落下につながり、けがなどの原因になります。



禁止



●エアコンを水洗いしたり、花瓶などの水の入った容器をのせたりしない漏電によって、感電や発火の原因になります。



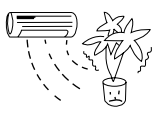
禁止



●動植物に直接風があたる場所には設置しない動植物に悪影響を及ぼす原因になることがあります。



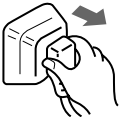
禁止



●掃除をするときは必ず運転を停止し、電源プラグを抜く(またはブレーカーを“OFF”にする)内部でファンが高速回転しておりますので、けがや故障の原因になります。



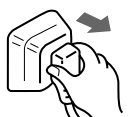
強制



●長期間使わない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜くホコリがたまって発熱し火災の原因になることがあります。



プラグを抜く



安全上のご注意 (つづき)



ご使用前に

⚠ 注意

使用上の注意事項

- 室外機の上に乗ったり、物を載せたりしない
落下や転倒などにより、けがの原因になります。



禁止

- エアコンの下に他の電気製品や家財などを置かない
水滴が滴下する場合があります、汚損や故障の原因になることがあります。



禁止

- 冷房運転時、窓や戸を開放した状態（部屋の湿度が80%を超えたまま）などで長時間運転したり、風向スイング運転または、上下風向板を下向きにしたままで長時間運転をしない
上下風向板に露がつき、ときには露が落ち、家財などを濡らす原因になることがあります。



禁止

- 能力以上の負荷（冷房・暖房能力以上の広い部屋や多勢の人が居るなど）で使用しない
設定温度に達しないことや、露が落ちて家財を濡らす原因になることがあります。



禁止

- エアコンの洗浄には専門技術が必要なため、お買い求めの販売店に相談する
市販の洗浄剤などを使用しますと、樹脂部品の割れや排水経路の詰まりに至ることがあり、水たれや感電の原因にもなります。また、洗浄剤が電気品やモーターにかかると、故障・感電や火災の原因になります。



強制

- 室外機の吸い込み口や底面・アルミフィンにさわらない
けがの原因になります。



接触禁止

- 冷媒配管パイプや接続バルブにさわらない
やけどの原因になります。



接触禁止

- エアコンの清掃時には、手袋を着用する
けがの原因になります。



強制

⚠ 警告

移設・修理時の注意事項

- 修理は、お買い上げの販売店または、修理窓口に依頼する
ご自分で修理をされ不備があると、感電や火災の原因になります。



強制

- エアコンを移動・再設置する場合は、お買い上げの販売店またはお客様
ご相談窓口に依頼する
ご自分で移動・再設置され、不備があると、感電や火災の原因になります。



強制

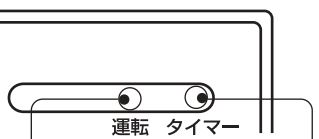
各部の名称と働き (1)

室内機

マイクロメッシュ・ステンレスフィルター
(内部にあります)
空気中のチリやホコリなどをキャッチします。
(☞12ページ)

上下風向板/左右風向板
(吹き出し口)
(☞10ページ)

室内機表示部



運転ランプ (黄)
運転中に点灯します。

タイマーランプ (橙)
タイマー予約時に点灯します。
(☞11ページ)

リモコン
(☞8ページ)

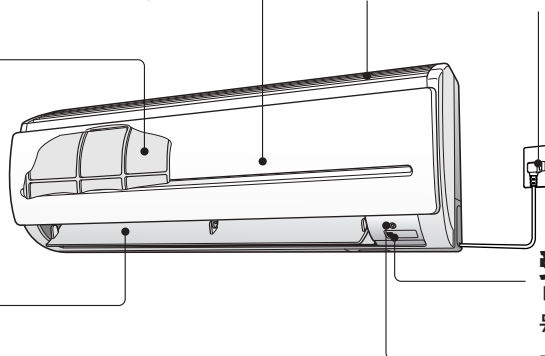


リモコン取付具

壁や柱にリモコンを固定するときに使います。



フロントパネル 上面グリル 電源プラグ



受信部
リモコンからの信号を受信します。
表示部

暖房運転時、次の場合に運転ランプが点滅し、超微風運転、または風が止まる場合があります。(故障ではありません)

予熱運転

運転開始後の2~3分間で室内機の熱交換器を暖めます。

霜取り運転

室外機の熱交換器に霜が付くと一旦、暖房運転を停止し、霜取り運転を行います。霜の付き方によって違いますが、およそ10分程かかり、最長時間は20分です。ご使用条件により霜取り運転に入る頻度が変わります。

オートフレッシュ除霜運転

運転を停止したときに、室外機の熱交換器に霜が付いていたら、霜取り運転を行います。

室外機

吹き出し口

“暖房”運転時には冷風を、“冷房”“除湿”運転時には温風を吹き出します。

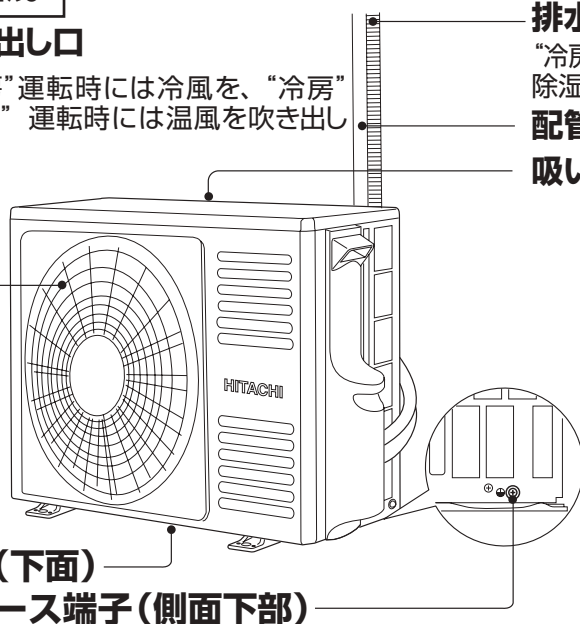
排水ホース

“冷房”“除湿”運転時には室内機からの除湿水を室外へ排水します。

配管・配線

吸い込み口 (背面と左側面)

排水口 (下面)
アース端子 (側面下部)



室外機について

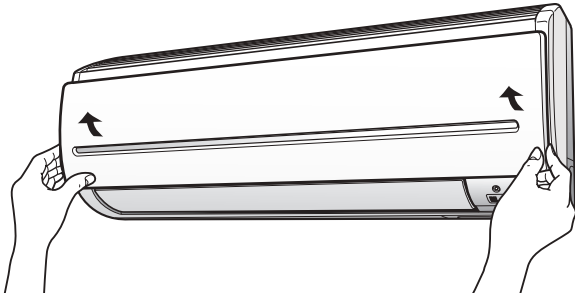
- 運転を「停止」にしても、室外機のファンは電気部品を冷やすために10~60秒間回り続けます。
- 暖房時には、室外機より凝縮水や霜取り時の水が流れ出ます。
寒冷地ではこれらの水が氷結してしまうこともありますので、室外機に設けてある排水口をふさがないでください。
- 公団吊り等をする場合は、排水口にドレンパイプとブッシュを取り付けて排水処理をしてください。

各部の名称と働き (1) (つづき)



フロントパネルの開閉のしかた

開ける



- フロントパネルの左右側面下部を必ず両手で持ち、手前に引き上げ止まるまで開けます。

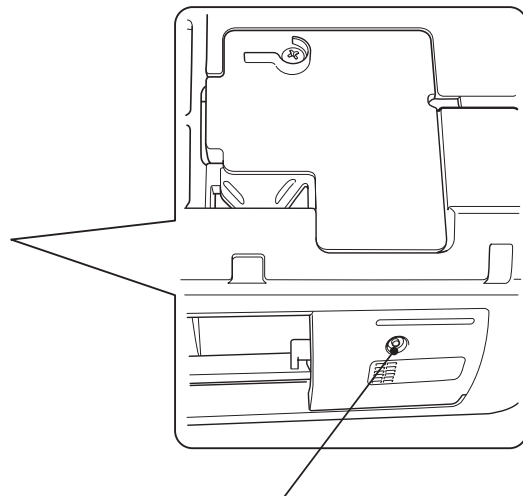
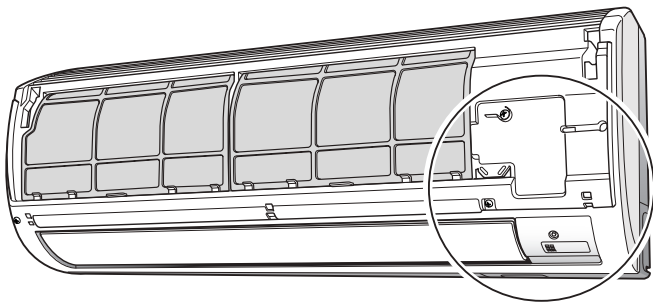
閉める



- フロントパネルを必ず両手で持って閉じたあと、矢印部(3カ所)を押します。

室内機操作部

■ フロントパネルを取り外した状態です。
(フロントパネルの取り外しかたは 12ページ)



応急運転スイッチ (強制冷房スイッチ)

⚠ 注意

長期間使わないときは、電源プラグをコンセントから抜く
(またはブレーカーを“OFF”にする。)

- ☆ 電源が入っていると運転していなくても、制御回路内で微少ですが、電気を消費します。電源プラグをコンセントから抜くまたはブレーカーを“OFF”にすることで、節電効果があります。
- ☆ 電池切れなどで、リモコンが使えないとき、応急運転スイッチを押すと、応急運転を行います。応急運転は、室温・外気温に応じた運転を行います。
〔 5秒間長押しすると、強制冷房運転します。これは販売店で行う操作ですので、お客様は操作しないでください 17 ページ 〕

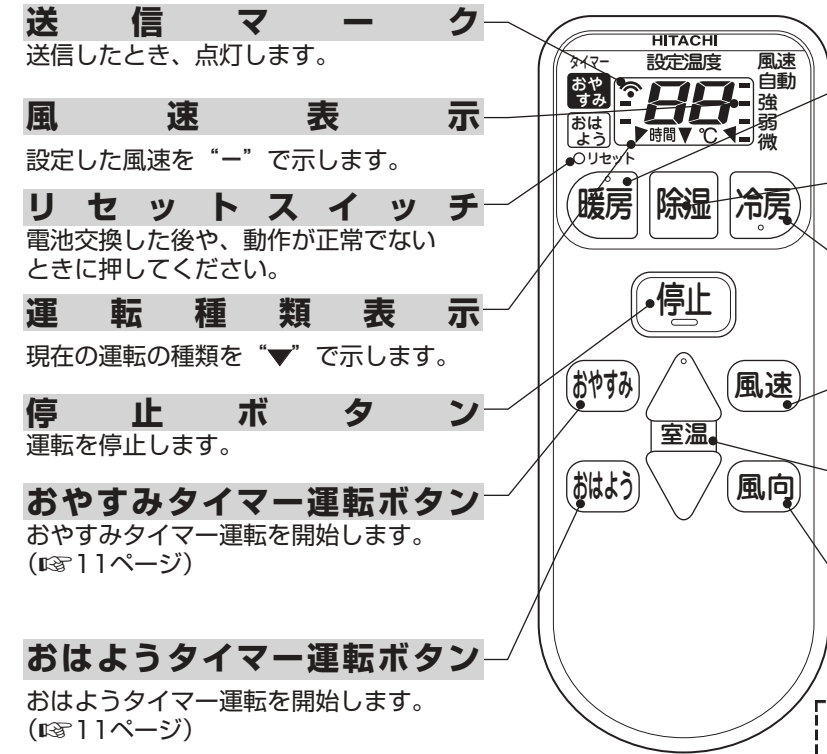
各部の名称と働き (2)



■ 運転内容、タイマー予約内容などを室内機に送信します。

リモコン

送信部



☆ 図の液晶表示はリセットスイッチを押した直後の表示を示します。
本ルームエアコンには無い機能も表示されます。

暖房ボタン
暖房運転を開始します。(P.9ページ)

除湿ボタン
除湿運転を開始します。(P.9ページ)

冷房ボタン
冷房運転を開始します。(P.9ページ)

風速切換ボタン
風速を選びます。(P.9ページ)

室温設定ボタン
室温を設定します。押し続けると早送りになります。(P.9ページ)

自動風向ボタン
上下風向板をスイングさせたり、お好みの角度に変えます。(P.10ページ)

リモコンの準備

- 裏ぶたを開け、乾電池を入れる。(単4形を2本お使いください。)
- 裏ぶたを閉める。
- リセットスイッチを押す。

▼マークを押してから、手前に引く。

リモコンは、付属の取付具で柱や壁などに取り付けて使うこともできます。事前に受信できることを確かめてから取り付けてください。

- 上から差し込む。
- 外すときはリモコンの上部を持って引き抜く。

リモコンを操作するとき

- 操作は、室内機の受信部に向けて。受信できる距離は、正面で約7m。ただし、室内に電子点灯形の照明器具がある時は受信距離が短くなる場合があります。場合によっては信号を受け付けられないことがあります。
- リモコンはていねいに扱ってください。落としたり、水がかかったりすると送信できなくなる場合があります。

乾電池について

- 乾電池の寿命は、普通の使い方では約1年です。ただし、乾電池の「使用推奨期限」に近いものは、乾電池の交換が早くなる場合があります。また、付属の乾電池はモニター一用です。
- 液晶表示がうすくなったら乾電池を取り換えてください。
- 乾電池を交換した後や、動作が正常でない場合は、必ずリセットスイッチを押してください。
- 乾電池を誤って使うと、液漏れや破裂の危険があります。乾電池の注意文をよく読み、次の点に特に注意してご使用ください。
 - (1) 乾電池の+(プラス)、-(マイナス)の向きは、器具の表示どおりに正しく入れる。
 - (2) 新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使わない。
 - (3) 長期間(1ヵ月以上)使用しないときは、乾電池を取り出しておく。万一液漏れしたときは、よく拭き取ってから、新しい乾電池を入れてください。

リモコンの点検

■ 新しい乾電池と交換しても動作が正常でない場合は、リモコンの点検をしてください。

(AMラジオの点検)

(AMラジオ) リモコン

(カメラ付き携帯電話での点検)

(カメラ付き携帯電話) リモコン

(デジタルカメラでの点検)

(デジタルカメラ) リモコン

リモコンを操作したとき **雑音(ビービー音)** が入れば正常です。 ①リモコンの送信部が映るようにセットしてください。 ①リモコンの送信部が映るようにセットしてください。

 ②リモコンを操作したとき **モニターに送信部が発光** すれば正常です。 ②リモコンを操作したとき **モニターに送信部が発光** すれば正常です。

暖房・除湿・冷房運転



暖房・除湿・冷房 ボタンのいずれかを押す

- “ピッ” という受信音がして、運転を開始します。

停止 ボタンを押す

- “ピー” という受信音がして、運転を停止します。

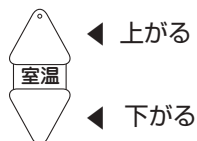
風速をセットするには



風速 ボタンを押す

- 運転の種類によって次のように選べます。
 - 暖房運転 } のとき：自動・強・弱・微
 - 冷房運転 }
- 除湿運転のとき：“微” 固定

室温をセットするには



■ リモコン設定温度範囲

- 16℃～32℃までセットできます。
(20℃で“ピピッ”という受信音がします。
30℃で“ピピピッ”という受信音がします。)

■ 次の運転条件でご使用ください。

暖房	除湿	冷房
● 外気温 -10℃～21℃以下 (-10℃未満のときや、24℃を超えるときは) 機械保護のため、運転しないことがあります)	● 室温 16℃以上 ● 外気温 10℃以上	● 外気温 22℃～43℃以下

- 冬季に冷房運転を行わないでください。

風速 “自動” について

暖房時	冷房時
● 運転開始時に、室温と設定温度の差が大きいとき、“強風” 運転します。 ● 吹き出す風の温度に応じて自動的に風速が変わります。 ● 設定温度になると、ごく弱い風になります。	● 運転開始時に、室温と設定温度の差が大きいとき、“強風” 運転します。 ● 設定温度に到達すると“弱風” に切り換わります。

クリーン運転



- 冷房シーズン終わりのときに、クリーン運転を行いますと、室内熱交換器を乾燥しカビの発生を抑えます。
(発生したカビを除去する働きや、殺菌効果はありません)

停止中に **停止** ボタンを3秒間押す

- “ピー” という受信音がして、約3秒後にリモコンに「CL」が点灯し、“ピッ” という受信音とともにクリーン運転を開始します。
- クリーン運転中は、室内機表示部の「運転」ランプが点灯します。
- 約30分の運転を行って自動的に停止します。
- 運転中、タイマー予約中は設定できません。

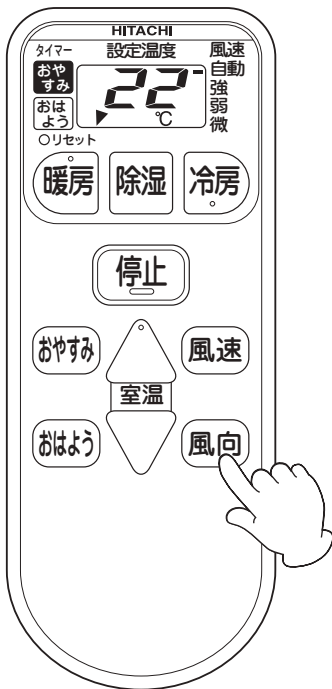
停止 **停止** ボタンを押す

風向の調節



- 上下の風向—必ずリモコンで操作してください。(手で動かすと、故障の原因になります)

便利な使い方



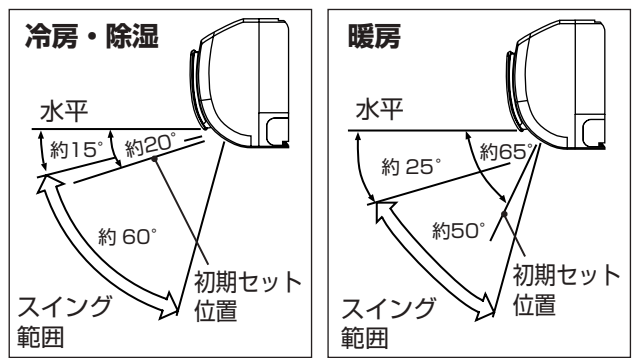
自動セット

- 運転の種類に応じた風向に自動的にセットします。
通常、上下の風向操作は特に必要ありません。

上下お好み風向

- 上下の風向をお好みの角度にしたいときは、**風向** ボタンで上下風向板を動かす、お好みの位置になったら、もう一度 **風向** ボタンを押して止めてください。
- 運転を停止すると吹き出し口を閉じますが、再び運転するとお好みの位置のままでセットされます。ただし、電源プラグを抜いた後（またはブレーカーをOFFにした後）は、電源を再投入して運転した場合、お好みの位置はリセットされます。

- 運転を切り換えると、運転の種類に応じた風向に自動セットされます。



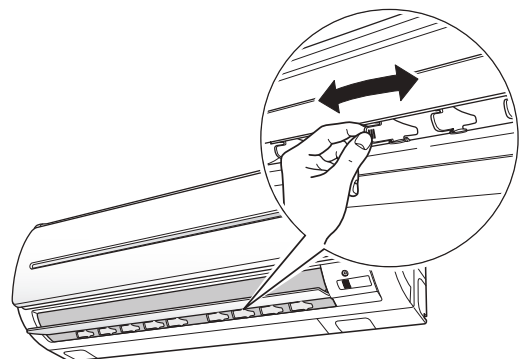
- 風向は図の調節範囲内でお使いください。

上下風向スイング

- **風向** ボタンを押すと、“ピッ”という受信音がして、上下風向板がスイングを繰り返します。
- 運転を停止するとスイングは止まり、吹き出し口を閉じます。再び運転すると、運転の種類に応じた風向に自動セットされます。
(風向板が動き出すまで6秒ぐらい時間がかかることがあります。)
(これは風向板の位置を正しくセットする確認動作のためです。)

- 左右の風向—手で操作します。

- 図のように、左右の風向を調節します。



タイマー予約運転



■ タイマーは **おやすみ** タイマー・ **おはよう** タイマーの2種類の使いかたができます。

(**おやすみ** タイマー・ **おはよう** タイマーは同時に予約することはできません。)

おやすみ タイマー予約のしかた

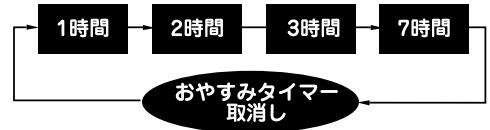
■ 就寝時に適した運転にし、設定した時間（1・2・3・7時間）運転を行ったあと停止します。



- **おやすみ** ボタンを押すだけで、1・2・3・7時間の中から好みの時間が選べます。

おやすみ ボタンを押す

- **おやすみ** ボタンを押すたびに右のように変わります。



- “ピッ” という受信音が出て、おやすみ運転を開始します。リモコンの表示部に、おやすみタイマーの予約時間が表示されます。
- 運転の種類・室温の設定は 9 ページをご覧ください。
- おやすみタイマー運転中の風速は、“微” に固定されます。
- 約1時間後、上下風向板がおやすみ位置にセットされます。

おやすみ ボタンを押して取消す

取消し

- “ピピッ” という受信音が出て、タイマー予約を取消します。

★表示は、2時間セットした例です

おはよう タイマー予約のしかた

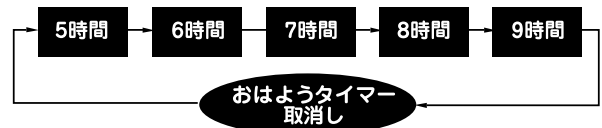
■ 設定した時間（5・6・7・8・9時間）後に運転を開始します。



- **おはよう** ボタンを押すだけで、5・6・7・8・9時間の中から好みの時間が選べます。

おはよう ボタンを押す

- **おはよう** ボタンを押すたびに右のように変わります。



- “ピッ” という受信音が出て、おはよう運転を開始します。リモコンの表示部に、おはようタイマーの予約時間が表示されます。
- 運転の種類・室温・風速の設定は 9 ページをご覧ください。

おはよう ボタンを押して取消す

取消し

- “ピピッ” という受信音が出て、タイマー予約を取消します。

★表示は、5時間セットした例です

便利な使い方

お手入れ



注意

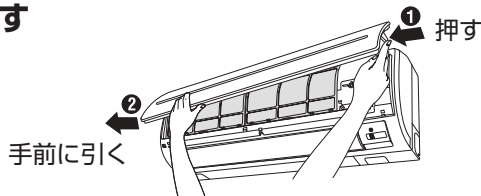
- お手入れの前には、リモコンで運転を停止して、電源プラグを抜く（または、ブレーカーを“OFF”にする）
- 本体に水をかけない 感電の原因になります。
- エアコン内部の清掃をする場合には、お買い求めの販売店に相談し、室内機の熱交換器の洗浄は、お客様自身で行わない 感電や故障の原因となります。
- 不安定な台に乗って掃除しない 転倒などによるけがの原因になります。
- 清浄時は手袋を着用する 手袋を着用しないと内部の部品に触れて、けがをする原因となります。

■ フロントパネルのお手入れのしかた

- フロントパネルをはずす。
- 水洗いする。
汚れが目立つときは、うすめた中性洗剤で洗ったあと、よく水洗いしてください。
強くこすったり、スポンジやたわしなどで洗わないでください。傷つくおそれがあります。
- やわらかい布で、水分をふき取るか陰干しする。水気が残っていると故障の原因になります。
- フロントパネルを外さないでお手入れする場合は、本体・リモコンともに、やわらかい布でから拭きしてください。
化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

フロントパネルの着脱のしかた

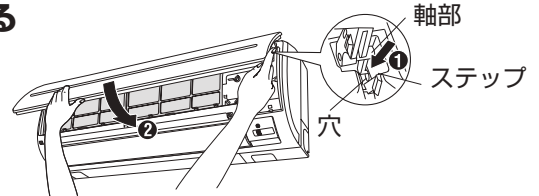
はずす



- 両手でパネルを開ききったところで右側アームの奥を内側に押し外したあと、少し閉じながら手前に引いてください。

● フロントパネルの着脱は必ず両手で行ってください。

取り付ける



- フロントパネルの左右のアームの軸部を、本体のステップに沿って穴に入るまでしっかりと差し込みます。確実に取り付いていることを確認したのち、フロントパネルを閉じます。

■ 約2週間に1回は、マイクロメッシュ・ステンレスフィルターのお掃除を。電気代の節約にもなります。

1

リモコンで運転を停止して、電源プラグを抜く（または、ブレーカーを“OFF”にする）
フロントパネルを止まるところまで開け、
マイクロメッシュ・ステンレスフィルターを取り出す
（フロントパネルの開閉のしかた 7ページ）

2

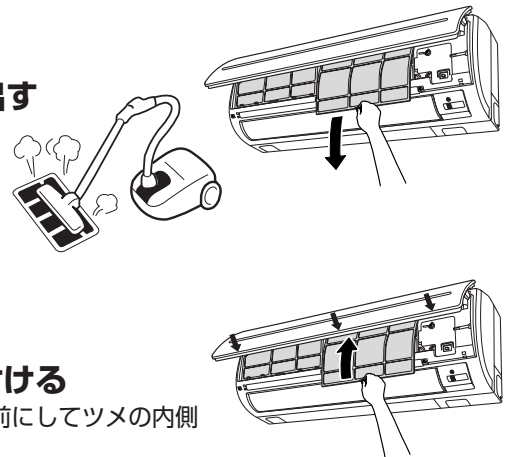
掃除機でホコリを吸い取る

- マイクロメッシュ・ステンレスフィルターの汚れがひどく掃除機で取れないときは、中性洗剤で洗ったあと、よく水洗いをして、陰干ししてください。
- お手入れするときは、市販のスポンジ（やわらかい面）で行ってください。たわしやブラシでこすると表面の金属膜がはがれてしまいます。

3

マイクロメッシュ・ステンレスフィルターを取り付ける

- マイクロメッシュ・ステンレスフィルターは（前）表示のある方を手前にしてツメの内側に取り付けてください。
- マイクロメッシュ・ステンレスフィルターを取り付けたあと↓部を押してフロントパネルを閉じます。



注意

- フロントパネルが、ガタついているとパネルが外れ、落下するおそれがあります。
- マイクロメッシュ・ステンレスフィルターを外したまま運転しないでください。熱交換器のすき間や機械にホコリが入り、熱交換器にの成分が付着したり、故障の原因になります。
- マイクロメッシュ・ステンレスフィルターの取り外し・取り付けの際、熱交換器のフィンで手などを切らないように十分ご注意ください。

■ 長期間（1ヵ月以上）使わないときは、次の手順でお手入れを。

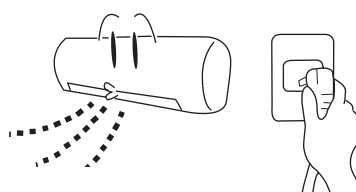
1

室内機の内部を乾かす

- クリーン運転をしてください。（10ページ）
内部がぬれたままで長期間使わないとカビが発生しやすくなります。

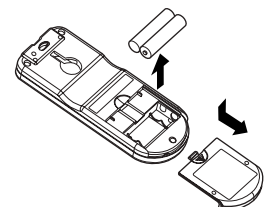
2

電源プラグを抜く。または、ブレーカーを“OFF”にする



3

リモコンの乾電池を取り出す





■ 暖房・冷房の能力について

暖房運転について

- このルームエアコンは、外気の熱を吸収して室内に運び込むヒートポンプ暖房を行いますので、外気温が下がるにつれて暖房能力は低下します。この場合はインバーターの働きで、圧縮機の回転数を上げて能力の低下を防ぎますが、それでも暖まりの悪いときは、他の暖房器具と併用してください。
- エアコン暖房は、部屋全体を暖める暖房ですので、暖かく感じるまで時間がかかります。タイマーで早めに運転しておくことをおすすめします。(P.11ページ)

冷房運転について

- 室内に冷房能力以上の熱源（多くの人が居る・熱器具を使う）がありますと、“設定温度”に到達しないことがあります。
※配管が長いと、暖房・冷房の能力が低下します。

■ 暖房・除湿・冷房運転 (P.9)

- 運転を開始する前のリモコン操作で、風速・室温をセットした後、ボタンをはなすと、約10秒後にそれらの表示が消え、運転の種類だけの表示になります。
- 運転中に運転の種類を変更すると、保護回路が働いて約3分間運転しません。
- 暖房運転時、室内機の運転ランプが点滅し、しばらく風が出ないことがあります。(P.6ページ)
- 暖房の風速“強”運転時、風が冷たく感じる場合や部屋が暖かくなった後に静かな運転を行いたい場合は、風速“自動”でお使いになることをお勧めします。
- 風速“微”運転時は、能力が少し低下します。
- 暖房運転の風速“微”・“弱”では、運転条件によって、風速が変化することがあります。
- 除湿運転時、室温が下がり、室外機が停止すると室内機の送風も止まります。
また、室温が上がり、室外機が運転しても約30秒ほど室内機から風が出ません。

■ タイマー予約運転 (P.11)

- タイマー予約したときにリモコンの送信をエアコンが受信しないと、タイマー時間がきても、エアコンは動作しません。室内機の受信音と室内機のタイマーランプで、タイマー予約したことを確認してください。(P.6ページ)
- 停止中におやすみタイマーを予約すると運転を開始します。

上手な使い方



■ 「適切な室温」が、からだにも家計にもおすすめです。

- 冷やし過ぎたり、暖め過ぎないようにしてください。健康上好ましくないうえ、電気代もムダになります。
- 窓のカーテンやブラインドを閉めれば、熱の出入りを抑えて、電気をより有効に使えます。

■ ときどき、お部屋の空気を入れ換えてください。



注意

燃焼器具と同時に使う時は、必ず換気を行う

■ おやすみになるとき、外出するとき、タイマーの有効利用を。

(タイマーの使いかたは☞11ページ)

■ 次のものは使わないで！(室外機も同様)

- ベンジン・シンナー・スポンジ・たわし・みがき粉などは、塗装面やプラスチック部品を傷めます。
- 40℃以上のお湯も使わないでください。フィルターが縮んだり、プラスチック部品が変形することがあります。

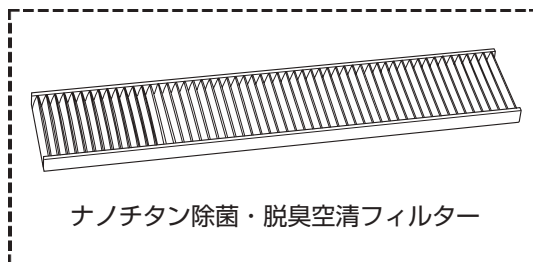
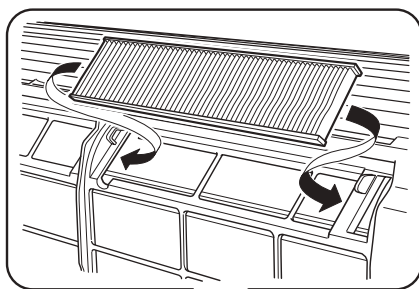


■ 吸い込み口・吹き出し口はふさがないで！

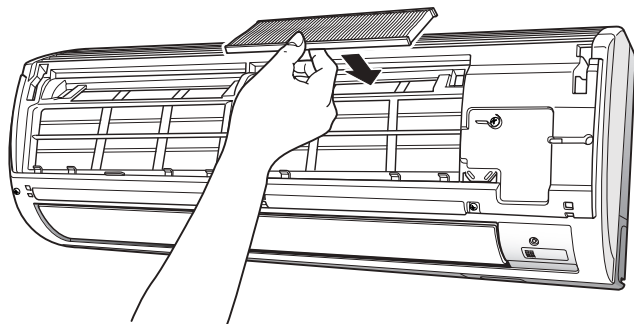
- 室内・室外機の吸い込み口や吹き出し口をカーテンや他の障害物でふさがないでください。性能が低下するばかりか、故障の原因になります。

■ 別売りの「ナノチタン除菌・脱臭空清フィルター」を取り付けることができます。(☞19ページ)

- ナノチタン除菌・脱臭空清フィルターは粒子の細かなナノチタン触媒が、小さな細菌をキャッチして除菌。汚れやニオイを除去します。
ナノチタン除菌・脱臭空清フィルターの働きで(通常の運転に空気清浄と脱臭機能がプラスされ)クリーンで快適な空間をつくれます。
- フロントパネルとフィルターを取り外します。(フロントパネルの着脱のしかた☞12ページ)
- ナノチタン除菌・脱臭空清フィルターを取り付けます。



ナノチタン除菌・脱臭空清フィルター



故障かな？と思ったら



■サービスを依頼する前に … 次のことをお調べください。

送信しない 受信しない (リモコンの表示がうすい・表示がでない)	①リモコンが電池切れになっていませんか？	8ページ
	②乾電池の⊕⊖が逆になっていませんか？	
	③リモコンの信号が受信しづらい場合、照明が影響していませんか？ (部屋の照明を消して確認し、影響している場合は、販売店にご相談ください)	
運転しない	①電源プラグが差し込まれていますか？	—
	②ご家庭のヒューズやブレーカーが切れていませんか？	—
	③停電ではありませんか？(停電後は運転が停止したままとなります)	—
よく冷えない よく暖まらない	①マイクロメッシュ・ステンレスフィルターにホコリが詰まっていますか？ (フィルターが目詰まりすると機械保護のため運転が停止することがあります)	12ページ
	②“設定室温”のセットは適正になっていますか？	9ページ
	③上下風向板は、運転内容に合った正しい位置になっていますか？	10ページ
	④室内・室外機の吹き出し口や吸い込み口を障害物などでふさいでいませんか？ 室内機の吹き出し口から出る風をカーテンレールなどで妨げていませんか？	—
	⑤風速が“微”になっていませんか？	9・13ページ

■これは故障ではありません。

においがする	エアコン自体ににおいを発生させる物質は使用しておりません。 室内の空気に含まれているタバコ・化粧品・食品などいろいろなにおいがエアコンに 付着し、これが吹き出すためです。
運転ランプが点滅し、 風が止まる	<暖房運転開始> 暖かい風をお届けする準備をしています。そのままお待ちください。 <暖房運転中> 室外機についた霜をとかしています。そのままお待ちください。(6ページ) <運転切換のとき> 冷房から暖房に運転を切り換えたとときに、保護回路または、予熱 センサーが働くためです。
「シュルシュル」「シャー」 「ポコポコ」「プシュ」という音	冷媒がパイプの中を流れる音と、流れの方向を切り換えるときの弁の音です。
「キシキシ」という音	温度変化でエアコン自体が膨張・収縮する音です。
「バサバサ」という音	運転開始時など、室内ファンの回転数が変わるためです。
「カタカタ」という音	電源投入時、電動弁が作動するときの音です。
「ポコポコ」という音	換気扇等により排水ホース内の空気が吸引され、露受皿の除湿水を吹き上げるときの音 です。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。
運転音が変わる	室温の変化に応じて、運転パワーが変わるためです。
霧が出る	室内の空気がエアコンの冷気で急速に冷やされて霧になるためです。
室外機から湯気が立つ	霜取り運転で溶けた水が蒸発するためです。
“停止”にしても室外機が 動いている	オートフレッシュ除霜(“暖房”を停止するとマイコンが室外機の霜付き状態をチェッ クし、必要に応じ自動霜取り運転を指令する機能)が働いているためです。
設定室温にならない	在室人数や室内・室外の条件によっては、リモコンの設定室温と実際の室温に若干の ズレが生じる場合があります。

- 以上のことをお調べになり、それでも具合の悪いときや下記のような現象が出たときは、電源プラグを抜き(またはブレーカーを“OFF”にして)、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。アフターサービスについては16ページをご覧ください。

こんなときは、すぐ販売店へ。

- ブレーカーやヒューズがたびたび切れる。
- スイッチの動作が不確実。
- 誤ってエアコン内部に異物や水を入れてしまった。
- コードの過熱やコードの被覆に破れがある。
- 室内機表示部のタイマーランプが点滅している。
(点滅回数で故障原因がわかりますので、電源プラグを抜く前に点滅回数をご確認の上ご連絡ください)

保証とアフターサービス (必ずお読みください。)

保証書

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げの日から1年間です。
(ただし、冷凍サイクル部分は5年間です)
なお、保証期間中でも有料になることがありますので保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

エアコンの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後9年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

転居されるときは

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

ご不明な点や修理に関するご相談は

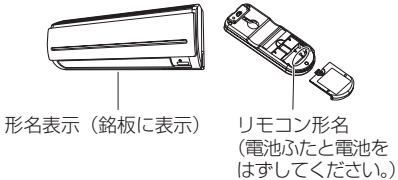
修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「お客様ご相談窓口」(裏表紙)にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは (出張修理)

15ページにしたがって調べていただき、なお異常があるときは、必ず電源プラグを抜いて(またはブレーカーを“OFF”にして)から、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

アフターサービスをお申し付けいただくときは、下のことをお知らせください。

品名	日立ルームエアコン
形名	RAS-LJ28X2/RAS-LJ36X2 RAS-LJ40X2/RAS-LJ50X2 
お買い上げ日	年 月 日
故障状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	() -
訪問希望日	

■保証期間中は

修理に際しましては保証書(別添)をご提示ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金 = 技術料 + 部品代 + 出張料
などで構成されています。

■技術料

診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。

■部品代

修理に使用した部品代金です。その他の修理に付帯する部材などを含む場合もあります。

■出張料

商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合もあります。

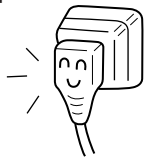


再据付工事のお申し込みは

販売店に再据付工事(転居または別の部屋への接続)を依頼する場合は、据付工事の繁忙期に当たる夏期は工事が遅れぎみになりますので、できるだけ避けるようお願いいたします。また、据付工事は専門の技術が必要です。費用など詳しいことは、お買い求めの販売店にご相談ください。

定期点検



■半年～1年に一度、定期的に次の点検を行ってください。もし、ご不審な点がありましたら、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

<p>コンセント</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？ <p>警告 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていなかったり、熱くなっていたりすると、感電や火災などの原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグにホコリの付着や汚れなどがある場合は掃除をしてから電源プラグを差し込んでください。
<p>アース線</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● アースが確実に行われていますか？ <p>警告 アース(接地)が正しく接続されているかを確認する アース線が外れたり、途中で切れたりすると、誤動作や感電などの原因になります。</p>
<p>据付台</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 据え付けが不安定になっていませんか？ <p>警告 据付台が極端に錆びている、あるいは室外機が傾いたりしていないかを確認する 室外機が倒れたり、落下したりして、けがなどの原因になります。</p>

点検整備

エアコンを数シーズン使いますと、内部が汚れ、性能が低下することがあります。



注意

通常のお手入れと別に点検整備を行う

室内機の内部にゴミやホコリがたまって、除湿水の排水経路を詰まらせ室内機から水たれを発生させることがあります。

- 通常のお手入れと別に、点検整備をお勧めします。



注意

点検整備は、お買い求めの販売店に依頼する

点検整備には専門技術を必要とします。市販の洗浄剤などを使用しますと、樹脂部品の割れや排水経路の詰まりに至ることがあり、水たれや感電の原因にもなります。

- 点検整備は、お買い求めの販売店にご相談ください。

強制冷房運転

(販売店で行う操作です)

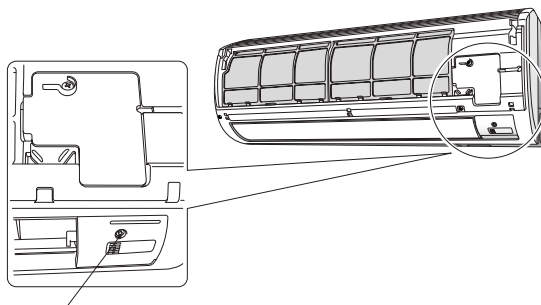
■室内機の強制冷房スイッチをONさせると強制冷房になります。故障診断や室外機に冷媒を回収するときに使用してください。

- 強制冷房スイッチでの作業が終了したら、必ずスイッチを押すか、リモコンで強制冷房運転を止めてください。



注意

サービスバルブのスピンドルを閉めた状態で5分以上運転しない



応急運転スイッチ (強制冷房スイッチ)

5秒以上押し続けると強制運転を開始します。止める時は、もう一度スイッチを押すかリモコンで運転を停止してください。

据え付けについて

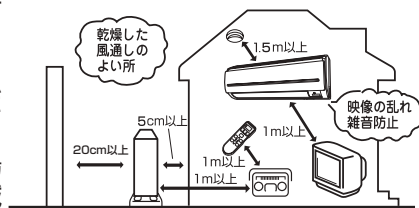


警告

- 据付工事や電気工事は専門の技術が必要なため、販売店に依頼する費用など詳しいことは、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 据付場所については、販売店とよく相談して決める
- アース（接地）を確実に行う
感電防止のほか静電気の障害や雑音を防ぐ効果もあります。

据付場所

- 室内機およびリモコンは、テレビ・ラジオやアンテナから1m以上離してください。1m以上あっても受信感度の弱い場合は、雑音が小さくなるまで離してください。
- 海浜地区で潮風が直接当たる場所や温泉地帯など、周辺環境が特殊な場所でご使用になる場合は、お買い上げの販売店とよく相談してください。
- 調理場や機械工場など油の飛沫や油煙の立ちこめる場所、工場などの電圧変動の多い所、電磁波を発生する病院や作業場、粉末や塵埃の多い工場への設置は避けてください。
- 室内機（吹出口）は火災警報器から1.5m以上離して据え付けてください。



注意

- 室内機排水ホースからの除湿水、室外機排水口（下面）からの凝縮水が出るため、水はけのよい場所を選ぶ
- 可燃性ガスの漏れるおそれのある場所や、蒸気・油煙などの発生する所で使わない
引火や爆発のおそれがあります。
- 特殊な用途（例えば電子機器や精密機器の維持、食品・毛皮・美術骨董品の保存、生物の培養・栽培・飼育など）には使用しない
ルームエアコンは日本工業規格（JIS C9612）に基づき、一般の家庭でご使用いただくために製造されたものです。

電源について

- 電源は配電盤からエアコン専用についた回路をお使いください。

アースについて

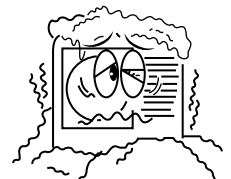


警告

- 万一漏電したときの感電防止のために、アース（接地）を確実に行う
アース工事は「電気設備に関する技術基準」に従って行ってください。
アース（接地）を行うと、感電防止のほかに製品に触れたときに感じる静電気の障害や、リモコン操作時にテレビ・ラジオに入る雑音を防ぐ効果もあります。
詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。
- 次のような場所にアース線を接続しない
 - ① 水道管
 - ② ガス管
爆発のおそれがあります。
 - ③ 電話線のアースや避雷針
落雷のとき大きな電流が流れ危険です。
- 漏電しゃ断器を設置する
据付場所によっては、D種接地工事のほかさらに漏電しゃ断器を設置することが法規で義務づけられています。
詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

積雪について

- 室外機の吸い込み口や吹き出し口が雪でふさがれますと、暖まりにくくなったり故障の原因になります。積雪地では防雪の処置をお願いします。
詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。



騒音にもご配慮を

- 据え付けにあたっては、エアコンの重量に十分耐える場所で、騒音や振動が増大しないような場所をお選びください。
- 室外機の吹き出し口からの冷・温風や騒音が、隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。
- 室外機の吹き出し口付近に物を置きますと、機能低下や騒音増大のもとになりますので、障害物は置かないでください。
- エアコンを使用中に異常な音にお気づきの場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。



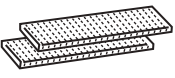
形 名		室内機	室外機	室内機	室外機	室内機	室外機	室内機	室外機
		RAS-LJ28X2	RAC-LJ28X2	RAS-LJ36X2	RAC-LJ36X2	RAS-LJ40X2	RAC-LJ40X2	RAS-LJ50X2	RAC-LJ50X2
電 源 (V)		単相200V							
定 格 周 波 数 (Hz)		50・60共用							
冷 房	定 格 能 力 (kW)	2.8 (0.9~3.3)		3.6 (0.9~4.0)		4.0 (0.9~4.7)		5.0 (0.9~5.5)	
	定 格 消 費 電 力 (W)	655 (230~1,195)		1,035 (230~1,200)		1,090 (230~1,680)		1,810 (230~2,050)	
	運 転 電 流 (A)	3.6		5.8		6.1		10.1	
	運 転 音 (dB)	47	47	47	47	47	49	48	50
冷房面積の目安 (㎡)	鉄筋アパート南向き洋室	19		25		28		34	
	木造南向き和室	13		16		18		23	
暖 房	定 格 能 力 (kW)	3.6 (0.9~4.8)		4.2 (0.9~5.1)		5.0 (0.9~7.3)		6.0 (0.9~8.0)	
	定 格 消 費 電 力 (W)	650 (190~1,175)		960 (190~1,180)		1,235 (190~2,205)		1,660 (190~2,405)	
	運 転 電 流 (A)	3.6		5.3		6.9		9.2	
	運 転 音 (dB)	47	48	47	48	47	50	47	50
暖房面積の目安 (㎡)	鉄筋アパート南向き洋室	16		19		23		27	
	木造南向き和室	13		15		18		22	
通年エネルギー消費効率 (APF)		5.0		4.5		4.4		4.2	
区 分 名		A		C		C		-	
外形寸法(mm)(高さ×幅×奥行)		280×780×210	570×750×288	280×780×210	570×750×288	280×780×210	570×750×288	280×780×210	570×750×288
製 品 質 量 (kg)		9.5	37	9.5	37	9.5	37	9.5	37

- この仕様表は、JIS（日本工業規格）に基づいた数値です。
- 運転停止中の消費電力は、0.6Wです。（ブレーカーOFF時は0W）
- （ ）内は能力・消費電力の変幅を表示しています。
- 区分名とは、家庭用品品質表示法にもとづく表示です。

主な付属部品

部 品 名	個 数	備 考
リモコン	1	型式：RAR-3J1
リモコン取付具	1	
リモコン取付具固定ねじ	2	
リモコン用乾電池（単4）	2	モニター用乾電池のため、乾電池の交換が早くなる場合があります。

主な別売部品

部 品 名	型 式	備 考	希望小売価格
ナノチタン 除菌・脱臭空清 フィルター 	SP-VCF9	・1セットで約2年間ご使用になれます。 (2枚で1セット)	1,575円(税込)

- 価格は2008年1月現在の消費税率を基に総額表示を行っています。
- 商品によっては品切れ、仕様変更の場合がございますので、販売店にお問い合わせください。

お客様ご相談窓口



日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
エコーセンターへ

TEL 0120-3121-68

FAX 0120-3121-87

(受付時間) 9:00~19:00 (365日)

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
お客様相談センターへ

TEL 0120-3121-11

FAX 0120-3121-34

(受付時間) 9:00~17:30 (月~土)、9:00~17:00 (日・祝日)

年末年始は休ませていただきます。

携帯電話、PHSからもご利用できます。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- お客様が弊社にお電話いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

愛情点検



●長年ご使用のエアコンの点検をぜひ！

このよう
なことは
ありませんか

- こげ臭いにおいがする。
電源コード・プラグが異常に熱い。
- 運転音が異常に高くなる。
- 室内機から水漏れがする。
- 漏電しゃ断器が頻繁に落ちる。
- その他の異常や故障がある。

コンセントから電源プラグを抜いて（またはブレーカーを“OFF”にして）必ず販売店に点検・修理をご相談ください。費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。

廃棄時にご注意願います。

2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのエアコンを廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

お客様メモ

購入年月日・購入店名を記入しておいてください。サービスを依頼されるときに便利です。

お買い上げ日	年 月 日	形名	
購入店名	電 話 ()		

日立アプライアンス株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12

RAS-LJ28X2
RAS-LJ36X2
RAS-LJ40X2
RAS-LJ50X2

RAS-LJ28X2
RAS-LJ36X2
RAS-LJ40X2
RAS-LJ50X2

HITACHI

日立ルームエアコン据付説明書

- 据付工事にお読みになり正しく据え付けてください。
- お書きまに操作方法を取扱説明書より説明してください。

室内機	室外機
RAS-LJ28X2形 + RAC-LJ28X2形	
RAS-LJ36X2形 + RAC-LJ36X2形	
RAS-LJ40X2形 + RAC-LJ40X2形	
RAS-LJ50X2形 + RAC-LJ50X2形	

据付情報 ●ドレンホースがねじ止めになりました。

- 据付工事に必要な工具** (●印はR410A専用工具)
- ドライバー ●巻尺 ●ナイフ ●ペンチ
 - パワカッター ●六角棒スパナ (厚4) ●Pカッター
 - φ65mmホールコブドリル ●真空ポンプ
 - スパナまたはモンキーレンチ ●トルクレンチ
 - ボンパアダプタ ●フリアリゲーター ●ガス漏れ検知器
 - ミニホールドリル ●チャージホース

安全上のご注意 (必ずお守りください。)

お使いになる人や他人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 表示内容を無視して誤った据え付け方をしていたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。
- ▲この表示は、「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。
- この表示は、「傷害を負うおそれまたは物的損害を生じるおそれがある」内容です。

●据付工事完了後、誤運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書によってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、この据付説明書は、取扱説明書とともにお客様が保存頂くように依頼してください。

警告

- 据付工事は、お買い上げの販売店または、専門業者に依頼することで行ってください。
- 据付工事は、この据付説明書に従って確実に実施してください。
- 据え付けは、重量に十分耐える所で行ってください。
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術事項」(内線規程)および「電気設備に関する技術事項」に従って実施してください。
- 接続ケーブルの配線は、遠隔接続より線の使用はせず所定のケーブルを使用し確実に接続する。
- 設置工事部品の必要付属部品及び指定の部品(別添部品等)を使用する。
- エアコンの設置や移動の場合、冷凍サイクル内に指定冷媒(R410A)以外の空気などを混入させない。
- 配管・フレアノットは、必ずR410A指定のものを使用する。
- フレアノットはトルクレンチを使用し、指定のトルクで締め付ける。
- 作業中に冷媒ガスが漏れた場合は、換気を行う。
- 設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する。

警告

- アース(接地)を確実に行う。
- 据付け作業では、圧縮機を運転する前に、確実に冷媒配管を取付ける。
- 冷媒回収(ボンパダウン)作業では、冷媒配管を外す前に圧縮機を停止する。
- 電源コードの加工・遠隔接続・タコ足配線はしない。
- 接続ケーブルの配線は、端子カバーが浮き上がらないように取り出し、カバーを確実に取り付ける。
- 電源プラグを差し込む際は、電源プラグがねじり付かないように注意する。

据付場所の選定

(下記の点に注意し、お書きの同意を得て据え付けてください)

室内機

- 本体を十分にささえられ、揺動が出ない、強度のあるところに据え付ける
- 近くには熱の発生がなく、吸出口付近をささないこと
- 本体の上・左・右・下(前)の隙間をあけられないこと
- ドレン排水が容易にでき、室外機と配管距離が近くなること
- 可燃物などの置かれた場所や、蒸気・油などとの発生しないこと
- 引火や爆発、腐蝕の発生や破損のおそれがあること
- 室内機およびリモコンはテレビやラジオから1m以上離す
- 高圧電線・気体の配管距離が近くなること
- 電子回路の動作に影響がある場合は、受信距離が短くなること

警告

- 室外機の重量に十分耐える場所に、騒音や振動が増大しないように据え付ける

注意

- 直射日光があたりにくい位置のよいこと
- 吹き出し音が周囲に響かないこと
- 室外機と室内機との配管距離が近くなること
- 室外機と室内機との配管距離が近くなること
- 室外機と室内機との配管距離が近くなること
- 室外機と室内機との配管距離が近くなること

番号	付属部品	個数	番号	付属部品	個数	番号	付属部品	個数
①	据付け板	1	⑤	リモコン取付具固定ねじ	2	⑧	保冷用断熱材	1
②	据付け板固定ねじ (4×25)	5	⑥	配管押さえ	1	⑨	ブッシュ	2
③	リモコン取付具	1	⑦	リモコン	1	⑩	ドレンパイプ	1
④	乾電池 (単4)	2						

※⑧は室外機と同梱

室内・室外機据付図(平地設置例)

電源コードの長さ: 約0.4m, 約1.1m

配管引出し方向: 横引き、縦引き

室外機の固定寸法: 110, 113

断熱付ドレンホースの接続: 外径16mm

室内機の据え付け

1 据付け板の取り付け・壁穴あけ・保護パイプの取り付け

- 室内機はドレンホースを左右どちらにも取り付けられる構造となっています。室内機を据え付ける際は、必ず水平または、ドレンホースを取り付ける側を若干下に傾けて据付け板を固定する。ドレンホースを取り付ける側を上にして据え付ける場合は、水漏れとなる恐れがありますのでご注意ください。

壁に直事する場合

- 室内機は、壁に固定する。
- 壁穴は据付け板に下カバー(下記「下カバーの取り外し」の項参照)を当てることにより、位置を決めることができます。

回り縁と鴨居に据え付ける場合

- 回り縁と鴨居間の寸法Hに合わせ、据付け板とたてさん上下を仮組みします。
- 回り縁と鴨居を利用してたてさん上下を仮止めます。
- 水平を確認して取り付けてください。

壁穴あけおよび保護パイプの取り付け

- 保護パイプ(市販品)は必ず使用する。
- 保護パイプを壁の厚さに合わせ切断し壁穴に通します。
- 雨水や外気の浸入等がないよう保護パイプを固定してください。

2 室内機の据え付け

1 据え付けの準備

下カバーの取り外し

- 下カバーの取り外しは、左右で異なります。

下カバーは①②を押しつつ手前に引いて取り外します。

下カバーは①部を矢印方向に押し取り外します。

室内機の据え付け(つづき)

下カバーブッシュ部の切断

- 右または左、あるいは下向き配管時は下カバーのブッシュ部をPカッター等で切り取り、やすりで表面をきれいに仕上げてください。

ドリルホースの付け替え(横引きの場合)

●付け替えは、下カバーをはずして行います。

- 横引き配管時はドリルホースとドレンキャップを下図のように付け替えてください。
- ドリルホースの横引き配管は行わないでください。

配管の準備

(裏面の配管の切断とフレア加工および配管の接続を参照)

- Fケーブルを接続します。(裏面のFケーブルの接続方法を参照)
- 配管を整形し、Fケーブル・ドレンホースとテープで仮止めます。(裏面の配管の切断と仕上げを参照)
- Fケーブル・配管を整形し、室内機背面の下部スペースに納め配管押さえで固定します。

配管を接続してから据え付ける場合(横引きの場合)

- Fケーブルを接続します。(裏面のFケーブルの接続方法を参照)
- 冷媒配管を壁穴位置に合わせて整形し接続します。
- 配管接続部は保冷用断熱材で覆い上にテープ巻きします。(裏面の配管の切断と仕上げを参照)
- Fケーブル・配管を整形し、室内機背面の下部スペースに納め配管押さえで固定します。

室内機の背面で冷媒配管を接続する場合

- 冷媒配管とFケーブルを整形しセッティングします。

2 据え付け

室内機の背面以外で冷媒配管を接続する場合

- 壁穴に配管を通します。
- ① 室内機の上部を据付け板に引っかけます。
- ② 室内機下部を壁に押し付け、室内機の爪を据付け板にはめこみます。

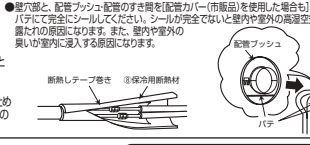
注意

- 据付板の裏面に、冷媒配管の接続部を保護するために、断熱材を貼ってください。
- 室内機の下部を手前に引くことで、室内機と据付け板との間に隙間が生じることがあります。室内機の下部を手前に引くことで、室内機と据付け板との間に隙間が生じることがあります。
- 据付板の裏面に、冷媒配管の接続部を保護するために、断熱材を貼ってください。
- 据付板の裏面に、冷媒配管の接続部を保護するために、断熱材を貼ってください。

室内機の据え付け (つづき)

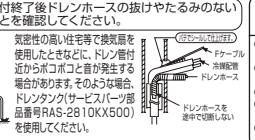
3 配管の断熱と仕上げ

- 配管断熱部は保温断熱材で覆い、隙間のないようテープ巻きます。
- テープは締め過ぎないように巻きます。隙間があったり締め過ぎたりすると漏れの原因になります。
- 配管・ケーブル等をテープ巻くとき、壁に固定します。
- ドレンホースや配管が挿入後、室内を通る場合は、漏れ防止のため保温断熱材(サービスパーツ部品番号RAS-228FX017)で覆い断熱の強化をしてください。



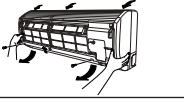
4 排水の確認

室内機の据え付け後、水を入れて確認し排水されることを確認してください。(確認後必ず水栓の閉りを必ずしてください)



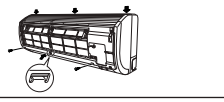
化粧カバーの外しかた

- 1 フロントパネルを取り外します。(取扱説明書P.12を参照してください)
- 2 フィルターを取り外します。(取扱説明書P.12を参照してください)
- 3 爪を引っ掛けて、化粧カバーの中央部を手前に引き爪を外します。
- 4 上面の爪(3カ所)を外し、化粧カバーを図のように側面(下側)を手前に引いて外します。



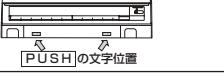
化粧カバーの取り付けかた

- 1 裏面が確実に取り付けられていることを確認します。
- 2 化粧カバーを本体にはめ込んだあと上面の爪(3カ所)を確実にはめ込みます。また中央部を持って、爪を固定します。
- 3 ねじ2本を締め付けます。
- 4 フィルターを取り付けます。(取扱説明書P.12を参照してください)
- 5 フロントパネル(外)の左右の端部を本体のステップに沿って穴に入るまでしっかりと差し込みます。確実に取り付けられていることを確認したら、フロントパネルを閉じます。(取扱説明書P.12を参照してください)



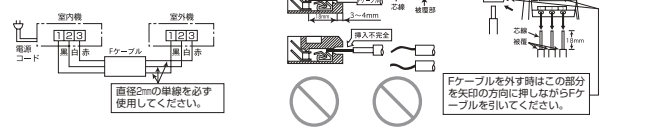
室内機の外しかた

- 室内機底面にある[PUSH]の部分を押しながら手前に引くと、爪が据付板より外れます。(右図矢印部2カ所)



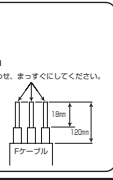
5 Fケーブルの接続方法

電源は200Vを使用してください。



警告

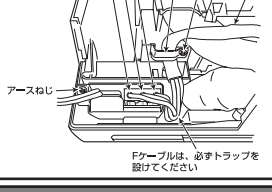
- Fケーブルは、必ず断線を使用するより線を使用し、故障や発熱、火災の原因になります。
- Fケーブルを途中で接続しない
- 接続部が過熱し、火災・感電の原因になります。
- Fケーブルの芯線径は1.7mm、最大でも21mm 芯出し、被覆が3~4mm かくれるまで確実に押し込み、各々の線径に合ったケーブルを使用してください。
- Fケーブルの接続は電線をむき、まっすぐにします。
- 分岐回路はエアコン専用の回路にする
- Fケーブルの取付工事は「電気設備に関する技術基準」に従って行う
- コンセントは必ず接地して作業を行う



室内機の据え付け (つづき)

室内機の接続方法

- Fケーブルを接続するときは下カバーを外して行います。

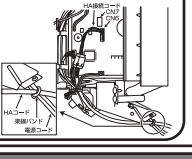


警告

- Fケーブルはサービス時の作業性を考慮して余裕を持たせて、必ずケーブル固定バンドで止める
- ケーブル固定バンドで止めるときは、Fケーブルの外側の樹脂部の上から確実に止め、接続部外力が加わらないようにする
- Fケーブルの接続部に外力が加わると、発熱や火災などの原因になります。

HAシステム・H-LINKと接続するとき

- HAシステムと接続する際は別売のH4接続コード(水・ガス)・部品番号RAS-2810RX100が必要です。
- H-LINKと接続するには、別売のRAC7Aプラグが必要です。
- 配管が1m、電圧が5Vを要し、設置を要します。
- RAC7Aプラグは、RAC7AプラグとRAC7Aプラグに接続してください。
- 詳しくはH4システム付属の取扱説明書、RAC7Aプラグの取付後継ぎ部品とあわせて、お読みください。
- 配管が1mの長さで、取り付けは本説明書で確認してください。
- 別売ケーブルは、電子レンジの電線に接続してはいけません。



室外機の据え付け

- 振動や騒音が大きくなりやすい箇所は避けてください。
- 配管類を、おおよそ整形して位置を決めてください。



注意

- 室外機の吸込み口や底面アルミフィンにさわらない
- けがの原因になります。



1 配管の切断とフレア加工

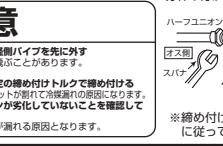
- パイプカッターで切断し、バリ取りを行います。
- バリ取りをする
- バリ取りをしないとガス漏れの原因になります。
- 切粉が管壁に入らないように
- バリ取り時には管壁を下向きにする



外径 (φ)	A (mm) [リジッド]	
	R410A用専用工具の場合	R22用専用工具の場合
6.35 (1/4インチ)	0~0.5	1.0
9.52 (3/8インチ)	0~0.5	1.0

2 配管の接続

- 室内機の吸込み口のフレアを外す場合は、線径別パイプを先に外す
- 室内機から出すフロア部分のトルクキープが飛び出ることがあります。
- 線径別パイプがつかないようになる
- フレア加工は必ずトルクレンチを使用し、指定の締め付けトルクで締め付ける
- トルクレンチが足りない場合は、指定のトルクレンチを使用してください。
- コントロールバルブを使用するときは、パッキングが劣化していないことを確認してバルブを締め付ける
- バルブを締め付ける際はトルクレンチを使用して締め付ける



仕上げ

1 アースと漏電しや断器

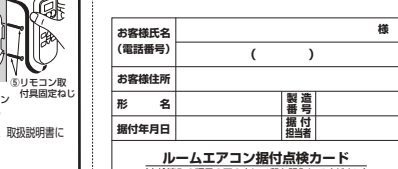
- このエアコンは必ずアース工事をしてください。
- アース工事(電気設備に関する技術基準)に従って実施してください。万一の事故等を防止するほかに、製品に当たったときに感じる電撃の軽減や、リモコン操作時にテレビ・ラジオ入音を防ぐ効果があります。
- 接地の基準
接地の基準はエアコンの電源電圧および設置場所により異なります。下表により接地工事をしてください。
- | 電圧 | エアコンの電圧 | エアコンの設置場所 | 水のある場所 | 湿気のある場所 | 乾燥した場所に設置する場合 |
|-----------|------------------------|-----------|--------|---------|---------------|
| 接地電圧が150V | 100V(三相四線制3相3線200Vの場合) | 設置する場合 | 設置する場合 | 設置する場合 | 乾燥した場所に設置する場合 |
| 接地電圧が50V | 200V(三相四線制3相3線200Vの場合) | 設置する場合 | 設置する場合 | 設置する場合 | 乾燥した場所に設置する場合 |
- 接地工事について(注)
●接地工事は電気工事士の力が付くことを確認してください。ただし漏電しや断器を取り付けた場合は500V以下であることを確認してください。

警告

- アース線は、次のようなところに接続しない
- (1)水道管
- (2)ガス管...引火や爆発の危険があります。
- (3)避雷針...電話のアース線...落雷のとき大きな電流が流れ危険です。
- 室内機または室外機どちらか一方から必ずアースを行う
- 必ずアース付きタクトンコンセントを調達のうえ、アース工事を行ってください。(アース端子は室外機のベース側面(サービスバルブ側)にもついています。)

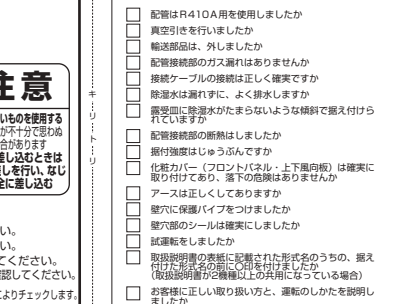
2 リモコンの固定

- リモコンはリモコン取付用壁や柱に固定することができます。
- リモコンを固定したまま、エアコンを操作するときはリモコンがエアコンに確実に接続されていることを確認してください。なお、壁光により影響を受ける場合があります。
- リモコンの取り付けは必ずリモコン取付用壁や柱に固定してください。
- 電子点灯の形がある場合は、受電距離が短くなる場合があります。
- 一部にエアコンを2台設置するとき、リモコンの混信を防ぐためには、取扱説明書に記載のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。



3 電源と試運転およびチェック

- #### 電源
- 電源プラグの改造や電源コードの延長は、絶対にしない
 - 電源コードはゆるみやたるみ、電源プラグに力が加わらないようにする
 - 電源コードが電源プラグなどで固定しない
 - 電源コードが電源プラグなどで固定しない、針金やヒビひびきなどによる劣化を避ける
- #### 試運転
- 試運転を行いエアコンが正常に動作することを確認してください。
 - 取扱説明書の手順で操作して「お客様」に説明してください。
 - 室内機が動かぬ場合は、Fケーブルの接続が正しいか確認してください。
 - 取り付け部屋の照明を点灯させてリモコンが正常に動作することを確認してください。
- #### 据え付けチェック
- おの「ルームエアコン据付点検カード」によりチェックします。



強制冷房運転

- 室内機の応急運転スイッチを5秒以上押し上げると、強制冷房運転になります。強制冷房運転中、室外機に冷房を回収するときを使用してはいけません。
- 強制冷房運転中はタイマーランプが点滅します。
- 強制冷房運転を停止するときは応急運転スイッチを再び押し上げ、リモコンで運転を停止してください。

注意

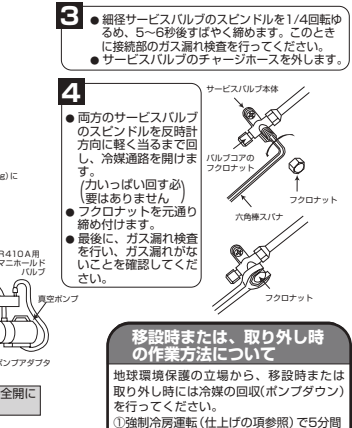
- サービスバルブのスピンドルを締めすぎるとガス漏れの原因になります。
- リモコンを押しすぎるとリモコンが壊れる原因になります。

室外機の据え付け (つづき)

3 エアバージおよびガス漏れ検査

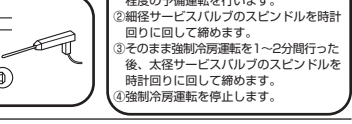
地球環境保護の立場から、エアバージは真空引きポンプ方式でお願いします。

- 1 サービスバルブのフロコナットを外します。
- 2 マニホールバルブのハンドルHを閉じ、Lを全開にして、真空ポンプを運転(アダプタ電源ON)します。
- 3 真空引きを10~15分間行ったら、ハンドルLを全開し、真空ポンプの運転を止めます。(アダプタ電源OFF)



ガス漏れ検査

右図の部分にガス漏れ検知器を使用してフレアナット接続部から冷媒漏れを確認してください。



4 Fケーブル接続方法

- 側面カバー・端子台カバーを外して行います。



5 室外凝縮水処理

- 室外機のベースには地面に凝縮水を排出するよう穴があいています。
- 凝縮水を排水口などに注ぐときは、平地置台(別売)やブロックなどに載せ地面より100mm以上上げて据え付け、図のようにドレンパイプを接続してください。
- ドレンパイプを接続する場合は、フックがベースから滑り落ちないように、すりえないことを確認してください。
- 室外機が水平に据え付け、凝縮水の排水を確認してください。
- 寒冷地での使用の場合
特に寒冷地等で寒さが厳しく積雪が多いとき、熱交換器から出る水がベース表面に凍結し、凍結がひどくなることがあります。フックにドレンパイプは取り付けず、ドレンパイプは水抜き穴と地面との距離を250mm以上確保してください。



お客様氏名 (電話番号)		様
お客様住所	()	
形名	製造番号	型番
据付年月日		

ルームエアコン据付点検カード		
(点検項目の項目の「○」の中に「印」を入れてください)		
<input type="checkbox"/>	配管はR410A用を使用しましたか	
<input type="checkbox"/>	真空引きを行いましたか	
<input type="checkbox"/>	配管断熱は、外しましたか	
<input type="checkbox"/>	接続部は、外しましたか	
<input type="checkbox"/>	接続部のガス漏れはありますか	
<input type="checkbox"/>	接続ケーブルの接続は正しく確実ですか	
<input type="checkbox"/>	排水は正常ですか、よく排水は確認してください	
<input type="checkbox"/>	真空引きに排水がたまらないよう凝縮水を排水口から排出させてください	
<input type="checkbox"/>	接続部の断熱は正しく確実ですか	
<input type="checkbox"/>	据付箇所はゆるみはありませんか	
<input type="checkbox"/>	アースは正しくしていますか	
<input type="checkbox"/>	壁穴に保護パイプがつかないままですか	
<input type="checkbox"/>	配管の断熱は正しく確実ですか	
<input type="checkbox"/>	取扱説明書の裏面に記載された形式のうちの、誤った形式のものを取り付けたままですか (取扱説明書が適用されない形式の共用による場合)	
<input type="checkbox"/>	お客様に正しい取り付け方と、運転のしかたを説明しましたか	

サービス記録		
年月日	サービス内容	サービス担当者